

令和4年度第2回学校関係者評価委員会 議事録

2023.03.20 書記

出席者

古川 雅英 (新潟県菓子工業組合 事務局長)
三島 茂 (新潟県司厨士協会 名誉会長)
神子島 真 (株式会社神子島製作所 取締役製造部長)
山岸 貴 (中央会計税理士法人 代表社員 所長)
渡辺 建太 (株式会社 渡森 代表取締役社長)
伊藤 佑二 (御料理 京相模)

【学校委員】

渡辺 忠雄 (理事長)
渡辺 弘子 (学園長)
出塚 彩 (校長)
近藤 一弥 (教頭)

【事務局】

渡辺 真理子
堀 慶

▶開会の挨拶(理事長)

コロナが落ち着いたとはいえマスクをするのが当たり前の雰囲気の中で、3年ぶりの学園祭や卒業式も開催できた。更に卵や油脂など食品関係の値上げで大変な思いをしてきた。

▶挨拶

学校がどのような活動をなされているか、また新年度の学校の方向性や目標を聞きながら有意義な時間にしたい。活発な意見をいただきたいと思う。

▶令和4年度学校評価の結果について

資料：令和4年度委員評価 結果

▶令和4年度委員評価 結果について

教育活動

Q. 設備や機材なども新しいものが出ているので少しずつ取り入れてほしい—
ぜひ取り入れていきたいと思っている
また現場でも新しい必要なものがあれば教えていただきたい

学修成果

Q. 同窓会の情報が知りたい—
同窓会サイトが見えづらい状況なので、リニューアルした際、どなたにも分かりやすく
同窓会の活動内容が分かるようにしたい

財務

Q. 物価の上昇を授業料にどのように反映していくのか

授業料は簡単には変えられないものなので、実習費でまかなえたらと思うが、それでもまかなえない時がきたら授業料も変えていく方向になる
財務状況が分かりづらいという意見もあったので、
議員の皆さんにも分かりやすい形で見えていただけるような方法を考えていきたい

▶コロナ禍における学校の取り組みについて(学園長)

1年間を振り返ってのレポートを書いてもらうと、ほぼ100%と言っていいくらい、学校で過ごした時間を「楽しかった」「一生の思い出です」と満足していたようだった。来年度もしばらくはこのまま緊張感を持って過ごしていきたい。

▶2023年度の重点目標(学園長)

開校以来の教育理念は変わらない。

令和5年度には創立33年度を迎えるが、重点目標は以下の通りである。

全国から求人が来ているが、学生が少ないが故に、またえぷろんのニーズが多いのに対応しきれないことがある。コロナ禍で関東・関西に行かせるのも難しいこともあるが、頑張っていきたい

市が「にいがた2Km」というイベントを開催し、参加したところ商品は完売し大変好評だった。学園祭も3年ぶりの復活をして、保護者はもちろん地域の方々が大変多く来てくださった。

▶質疑応答

Q. 授業料などは毎年変えることはできないのかー

A. 学校法人では学則の変更を県に届け出るため、授業料は簡単に変えることができない。材料費を削減するためにハーブを植えたりなど節約の工夫をしている。

意見：評価については現場を見ていない分確信をつけない部分は2・3・4で評価することになると思う。「具体的にはこういう活動をしている」という文言があると評価しやすい。

意見：紙を減らしてGoogleフォームでアンケートを取ったり、アンケートは集計が大変なのでアプリを活用したりなど、紙と時間を削減することで費用の節約につながると思う